

# 伊庭内湖周辺におけるホンモロコ遊漁による採捕尾数

片岡佳孝・亀甲武志

## 1. 目的

伊庭内湖周辺では、2012～2015 年度にホンモロコ漁業に対して琵琶湖海区漁業調整委員会指示による禁漁措置が行われた。期間は2012 年度が4月1日から同30日、2013～2015 年度が4月16日から5月15日であった。2016 年度は、漁業者の自主的な取り組みとして琵琶湖全域で5月と6月の禁漁が行われた。

しかし、これらの禁漁措置は漁業者を対象としたもので遊漁者は対象ではない。伊庭内湖周辺はホンモロコの遊漁が盛んであり、ホンモロコの資源に対する遊漁の影響を無視できない状況となっている。

そのため、水産試験場では遊漁実態の把握を目的として2012 年度から採捕尾数の推定調査を行ってきた。本年度についても継続調査を行ったので報告する。

## 2. 方法

遊漁（釣り、投網、たもすくい）によるホンモロコ採捕尾数の推定は、2 段階抽出により行った。調査日を1 次抽出単位、採捕状況の聞き取りを行った遊漁者を2 次抽出単位とした。採捕率や遊漁者数は時期ごとに変化したため、推定は月ごとに分けて行った。推定では、釣りは8 時間、投網とたもすくいはそれぞれ4 時間行うと仮定して計算した。

推定に必要な情報は、聞き取り調査により行った。聞き取りでは、遊漁者数の把握を行ったのち、無作為に選んだ遊漁者から聞き取りまでの採捕時間と採捕尾数を聞き取った。遊漁者数は、遊漁者数が増える午前10時から午後2時に目視により計数した。本年度の調査期間は、2016 年3月20日から6月6日であった。

## 3. 結果

調査日における総遊漁者数は、2 人(5月6日)から135 人(4月2日)で推移した。釣りは4月2日が最も多く(129 人)、5月6日以降は一人の人数となり終息した。たもすくい、投網は4月中旬から下旬にかけて増加した(図1)。遊漁による推定採捕尾数は、約20 万尾(195,760 尾)となった。内訳は、釣り約11 万尾(109,679 尾)、たもすくい約5.2 万尾(51,700 尾)、投網約3 万尾(34,381 尾)となった。遊漁による推定採捕尾数は、2015 年度より増加し、2013 年度 2014 年度と同程度となった(図2)。

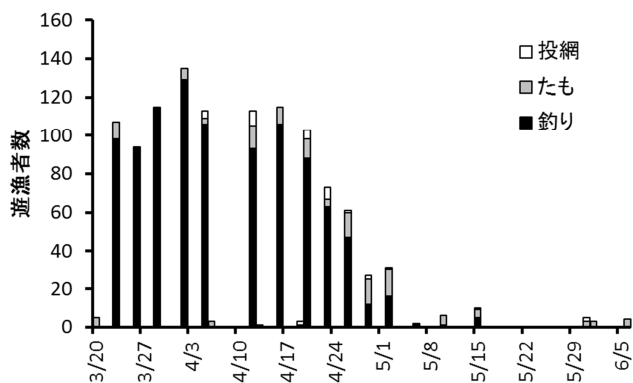


図1 伊庭内湖周辺におけるホンモロコ遊漁者数(2016)

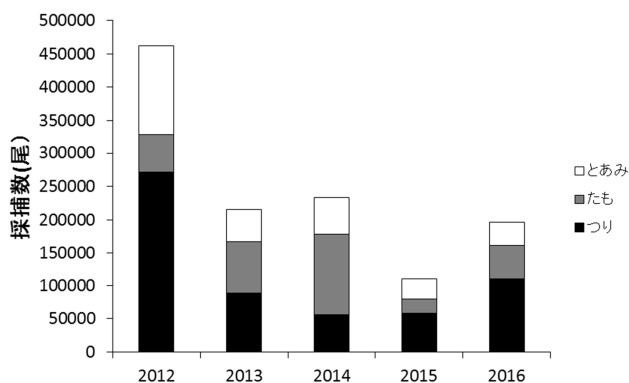


図2 伊庭内湖周辺におけるホンモロコ遊漁漁獲尾数の推移(2012-2016)